

## 7 パフォーマンス指標および総括

### (1) 千代田図書館

項目	目標値	実績	総括	担当
<b>1. 出版産業関連</b>				
出版関連資料整理保存検討会	年4回	年4回	出版関連資料の書架構築の経緯と方針、現状の棚状況を把握した。そのうえで、今後は、第三期千代田図書館出版関連資料コレクション構築方針を策定して、作業の方向性=何をやって、どういう方向に進むかの検討をすすめることを確認した。	サービス
<b>2. レファレンス</b>				
パスファインダーの新規作成	年3回	年4回	千代田区の施策に関連した「再生可能エネルギーについて調べる」、児童を対象にした「節分について調べる」、「チョコレートについて調べる」、「ひなまつりについて調べる」の4件を作成した。	サービス
商用オンラインデータベースの利用件数	月300件	5966件 月平均 497件	情報収集方法の講習会等での効果的な利用法の紹介、提供コンテンツの追加、安定した利用環境などにより、前年度比115%と着実な利用拡大となっている。	サービス
情報探索講習会	年4回	年4回	インターネットを使った千代田区立図書館所蔵資料の探し方講習会、インターネットでの各検索ツールを使った本の探し方講習会、さらに様々なツールを使って戦前の新聞記事を探してみる講習会、開催希望が多かった雑誌記事の探し方講習会を、職員が講師となって開催した。満足度は92%であった。今後も職員が講師となって利用者の情報探索に役立つ講習会を開催していきたい。	サービス
電話予約	年500冊	年932冊	カウンターでの対応時や講習会など機会を見つけ、周知活動につとめた結果、前年度比170%の受付冊数となった。	サービス
電話レファレンス メールレファレンス	年300件	年881件	レファレンスカウンターやフロアー、講習会などでの声掛けを通じたサービスの利便性周知につとめた結果、前年度比370%の受付件数となった。	サービス
<b>3. 児童サービス</b>				
おはなし会・ブックスタート	月2回	年30回	おはなし会は、毎月第2木曜日の11:00～11:30に子ども室で開催した。職員による読み聞かせ、手遊びなどを行い、合計536人の参加があった。 ブックスタートは、毎月第3木曜日に千代田保健所に出向き、3、4カ月検診に訪れる親子に絵本、図書館案内等の入ったブックスタートパックを配布した。今年度は569組の親子に配布した。	サービス
展示	年24回	年32回	季節歳時やその時々で話題となった出来事などをテーマに、関連本の展示を行った。	サービス

項目	目標値	実績	総括	担当
<b>4. 行政支援サービス</b>				
庁内LANを利用したメール配信	月1回	年14回	図書館専用のファイルを活用して、行政関連の新书推荐案内、あるテーマや話題について調べたいときに参考となる基本資料や調べ方を紹介した「情報探索の道しるべ」（パスファインダー）を発信した。さらに、展示やセミナーの案内情報などの発信も行った。	サービス
<b>5. 企画展示</b>				
ウォール展示の満足度	平均 4.0点	平均 4.4点	コレクション紹介展示、ビジネス書の展示、「図書館新聞」との連携展示、科学技術館との連携展示、区の施策を紹介する展示の5回開催し、それぞれ4点以上の満足度を得られた。今年度の展示アンケートでは、パネルの内容だけでなく、展示本のセレクトやブックリストの有用性を評価する声が多数挙がった。これは本との出会いの場として展示が有効であることを表していると考え。今後も高い評価を得られるよう工夫をしていきたい。	企画
出張展示	年2回	年5回	トムソン・ロイター、一橋大学大学院国際企業戦略研究科（ICS）図書室、アイデックスラポラトリーズ、グローバルキッズ、日本紙パルプ商事と、目標を上回る5回の出張を行った。出張展示の認知度のアップと、本による人材育成のニーズの高まりの相乗効果であると考え。また、今年度から展示先でのビブリオバトル入門ワークショップも合わせて提案し、1社で実施した。今後はより多くの企業で行えるような方法を模索していきたい。	企画
<b>6. セミナー・イベント</b>				
セミナー・イベントの満足度	平均 4.0点	平均 4.6点	目標を大きく上回る4.6点という結果になった。参加人数も多く、立ち見ができるイベントも複数あった。今後も満足度の高いイベントを提供していきたい。	企画
セミナー・イベントの開催回数	年10回	年14回	連携先の希望で関連セミナーが増えたのに加え、ミュージアム連携のまち歩きツアーや、ドイツ文化センターとの連携講演会などが新たに加わり、目標を4回上回る14回の開催となった。	企画
<b>7. コレクション関連事業</b>				
コレクションを紹介するレポート等の発行	年2回	年2回	研究会の発表を活かしたレポートを、2回発行した。 第12号：「ひとりの検閲官の素顔—安田新井の日記から—」 第13号：「検閲本の行方—内務省鍛錬会と検閲本—」	企画
内務省委託本研究会	年2回	年2回	第9回（9/15）、第10回（3/24）の2回実施。第9回は研究者3名、第10回は2名の発表がなされ、レポートの発行や次回の展示につながる活動となった。	企画

項目	目標値	実績	総括	担当
一橋・駿河台図書館業務資料デジタル化	年135点	年137点	「東京市立駿河台図書館案内」（日本図書館協会より寄贈）、「千代田図書館児童図書閲覧票」（日比谷図書文化館所蔵『図書館経営の理論と実際』に挿みこまれていたもの）の2点を展示準備時、コレクションに追加した。それを含めて合計137点のデジタル撮影を完了した。次年度はHPで公開する事業を実施する。	企画
<b>8. オンライン・ウェブサービス</b>				
Web図書館閲覧件数	月 1,900件	26,627件 月平均 2,218件	新たにPCソフトの解説書、昭和50年代日本の風景写真集、日本語学習に関する雑誌「ひらがなタイムズ」、音声付絵本やAudio Bookなどの児童向けコンテンツなどを受入れた。毎月30タイトル程度をコンスタントに受け入れ、利用者への継続閲覧をアピールできたため、今年度も目標を達成した。利用に関しては、TOEIC模擬問題集、資格試験解説書、3D図鑑、ビジネスに関する実用書、むかしばなしのちりめん本などの利用が多かった。	サービス
音楽配信サービス	月 5,000件	61,922件 月平均 5,160件	ユニバーサル・ミュージックレーベルがラインナップに加わったことで、著名な指揮者や演奏家の名盤といわれるコンテンツが大量に追加されたことから、昨年度よりも利用が伸び、今年度も目標を達成した。	サービス
<b>9. 学校支援</b>				
図書館だより発行(合計)	年30件	年40件	各小・中学校で発行し、目標件数を大きく上回った。児童生徒の学校図書館利用促進に繋がるよう、また、教職員や保護者への情報発信にもなるよう内容を検討した。	読書振興センター
ブックリスト作成(合計)	年30件	年35件	季節や年齢に合わせたおすすめの本リストを作成し、各支援先で児童生徒に配布した。小学校では単元に合わせて、授業で活用してもらえようなリストを作成し、教職員へ配布した。	読書振興センター
イベントを通じた読書活動	年20回	年47回	児童館で夏季休業中に行うブックトークや怖い話のおはなし会、各小・中学校で読書週間に行う様々なイベントに積極的に関わった。今年度読書振興センターが行った「出張読み聞かせ講座」の講師も担当した。	読書振興センター
保護者・ボランティア向け支援	年4回	年14回	ボランティア向け講習会や保護者向け講座、おはなし会などの依頼を受け、目標値を大きく上回った。今年度初めて開催する園もあり、実施施設が確実に増加している。	読書振興センター
蔵書構築アドバイス	年30回	年39回	各校の蔵書が書架の容量に達したため、購入アドバイスに加え、随時除籍アドバイスも行った。蔵書のバランスを考慮した上で、今後も積極的に行う。	読書振興センター
パスファインダーの作成	年3回	年3回	昨年度に引き続き、調べ学習で依頼の多いテーマを選択し、小学生版2件と中学生版1件を作成し、各学校図書館に設置、配布した。	読書振興センター

項目	目標値	実績	総括	担当
読書だより「BOOKTRAIN・おはなしトレイン」発行・展示	年2回	年2回	昨年度に引き続き、夏休みと冬休みの長期休業前に、読書だよりを各支援先で配布した。千代田図書館での展示も継続して行い、より多くの利用者に学校支援事業を知ってもらえる機会となった。	読書振興センター
団体貸出	年200件	年368件	小・中学校では調べ学習に使う資料や教科書の単元に関連した資料、幼稚園・子ども園・保育園では、読み聞かせに使う資料の貸出依頼を多く受けた。直接支援には行っていない九段中等教育学校からの依頼も受けている。	読書振興センター
<b>10. 読書振興</b>				
子ども・大人向けイベント・セミナー	年4回	年5回	こどもの読書週間の5館連携企画「ヨムキクちよだ」は2年目を迎え、区立図書館一体となった読書推進活動を行った。夏休みには恒例の小学生向けイベント「夏のわくわく課外授業」、今年で2回目となる中高生向けイベント「図書館コンシェルジュ一日体験」、3月にはスペシャルイベントとして大人が楽しめる詩の朗読イベント「詩を聴く、詩を唱う、詩を感じる」と、子どもから大人までの読書振興に関わるイベントを幅広く企画・実施した。区内の公立私立校の児童・生徒向け「出張読み聞かせ講座」も初めて企画。区立小学校2校、私立中学高等学校1校、計3校で実施して区内の学校との関係性の強化へ繋がった。	読書振興センター
読書振興活動者向け講座	年1回	年1回	区内の公立私立校の先生向けに出張ビブリオバトル講座を企画。区立小学校1校、区立中等教育学校1校、計2校で実施し、学校でのビブリオバトル実践に活かしてもらうことができた。	読書振興センター
イベント・セミナー・講座等の参加満足度	平均 4.0点	平均 4.6点	目標を大きく上回ることができた。特に「図書館コンシェルジュ一日体験」は5点満点、「夏のわくわく課外授業」は平均4.8点と満足度が高く、夏休みの子どもたちに向けて魅力あるイベントを実施することができた。また「出張読み聞かせ講座」の満足度は平均4.5点（計3回）、「出張ビブリオバトル講座」の満足度は平均4.4点（計2回）と、初の出張講座の手ごたえも感じることもできた。（通年でのイベント満足度＝イベント計6回、満足度平均4.6点）	読書振興センター
読書振興・地域振興等のテーマ展示	年2回	年4回	こどもの読書週間展示と秋の読書週間展示に加え、読書振興センター主催イベントと連動した告知展示と報告展示を行い、目標回数を達成した。イベントと連動して展示を実施することで、図書館へ足を運び、関連する資料を手に取り、興味を広げるきっかけにすることができた。	読書振興センター

項目	目標値	実績	総括	担当
情報発信 (ウェブログ更新等)	月5回	年60回	月5回の記事更新をコンスタントに続け、目標回数を達成した。5月からは新たに月に1回“コンシェルジュ通信”として、コンシェルジュによるイベントレポートや街情報紹介など、より幅広い内容の記事を投稿し、「千代田ゲートウェイ」の役割強化に繋がった。	読書振興センター
区内中学・高等学校への 情報発信(メルマガ等)	年5回	年7回	区内の希望校へ目標値を上回る回数のメールマガジンを配信した。年に2回のブックリストや館内のイベント情報など、子どもの読書推進につながる情報発信を積極的に行った。このメールマガジンをきっかけに私立校への出張講座が実現した。	読書振興センター
<b>11. 広報活動・パブリシティ効果</b>				
リリース発行回数	月1回	年19回	最適なタイミングでのリリース発行を行うために、9月は0回となってしまったが、年間を通じて月平均1回以上のリリースを発行することができた。その結果、昨年を上回る59件のメディア掲出に繋がり、千代田図書館の取組みや催しを広く知らせることができた。	読書振興センター
<b>12. 街案内</b>				
街案内イベント	年2回	年2回	初回のツアーは、図書館の企画部門と連携し、「千代田区ミュージアム連絡会設立10周年企画 千代田ディスカバリーミュージアム」として、「時代小説」をテーマに明治大学博物館を最終目的地とするツアーを行った。2回目のツアーは明治大学米沢嘉博記念図書館の協力のもと、「漫画」をテーマにツアーを行った。 いずれのツアーも通常は入ることのできない場所の見学が含まれており、その特別感が高い評価をいただいた。	読書振興センター
「本と街の案内所見聞調録」 発行	年6回	年6回	「本と街の案内所」での対応事例からテーマを選び、図書館利用者が調べものに活用できるツールとして、年6回発行した（Vol. 37～42）。うち2回は、年2回の街案内イベントを疑似体験できる内容とし、イベントに参加していない方にもそのテーマで地域の魅力を楽しんでもらえるように工夫を加えた。	読書振興センター
<b>13. 四番町図書館</b>				
一般特集展示 (特別展示を含む)	月1回	年29回	蔵書の利用促進のため、毎月、季節感のあるテーマを立てて展示の入れ替えをしている。日頃は目立たない本を意識的に取り上げ、展示することで高い貸出実績に繋がっている。6月の「時間を旅する」、「とくべつなひととき」といった抽象的なテーマへの反応もよかった。	サービス

項目	目標値	実績	総括	担当
児童特集展示	月1回	年16回	毎月、わかりやすく、楽しい季節感のあるテーマを中心にした展示を心掛けた。どの展示も貸出実績が高かったが、特に「ぼくらはなつのぼうけんか」、「ゆくとしくるとし」、「クリスマスの本」など季節のキーワードへの反応が高く、利用喚起につながっていることが実感された。 2カ月に1度のいたばしボローニャ子ども絵本館連携展示とリンクさせたテーマを立てることで、日本語の絵本と海外の絵本の絵の違いなども楽しんでもらった。	サービス
おはなし会	月4回	年62回	毎週金曜日に行う「きんようびおはなし会」と、毎月第4日曜日に行う「にちようびおはなし会」では、職員と当館で講習を受けた読み聞かせボランティアで実施した。5月の連休や6月～8月にかけては特に参加者が多く、リピーターだけでなく、口コミによる参加も増えている。	サービス
セミナー・講座・イベント等 開催	月6回	年26回	27年度は「読み聞かせ講座」も初級・中級・実践と7講座を実施。そのほかラウンジセミナーとして、夏休みの「しかけ絵本作り」、4月、5月は「ヨムキクちよだ2015」関連のスペシャルおはなし会も好評を得た。また、「蔵書票づくり」など大人向けのイベントも企画、実施した。中高生向けには昨年続き、「コメントコンテスト」を実施。106人の中・高生から書評コメントの応募があった。	サービス

(2) 日比谷図書文化館

項目	目標値	実績	総括	担当
<b>1. 広報・営業部門</b>				
ニュースリリース発信	45件	45件	「特別展」企画を始め、「図書フロア展示」「特別研究室展示」などの各種展示、及び大ホールで開催する「日比谷カレッジ」主要講座などについて発信を行った。また、ニュースソースの開発を工夫した。	広報
メディア掲出数 (新聞、電波、雑誌、WEBほか)	150件	195件	「ルドゥーテ「美花選」」展と「祖父江慎＋コズフィッシュ「ブックデザイン」」展の反応がよく、とりわけ後者は注目度が高く、Web系を始め各メディアにとりあげられた。	広報
Web広報発信	50件	56件	Facebookによる、「特別展」、「日比谷カレッジ」や各種企画展示の発信を中心に実施した。	広報
日比谷図書文化館および日比谷公園など近隣施設等の情報発信(twitterも含む)	45件	84件	館内については「特別展」やロビー展示を中心に各種情報を発信。近隣情報については日比谷公園での無料イベント、季節の見どころ情報などをタイムリーに発信した。	受付・コンシェルジュ
<b>2. 総務・経理</b>				
研修(マナー、クレーム研修など)	2件	2件	館内の受け付け体制の変更に合わせた「受付・コンシェルジュ館内ご案内研修」と来館者全般に対応する「お客様対応研修」を実施した。	総務経理
<b>3. 事業企画運営部門</b>				
特別展入場者 ルドゥーテ「美花選」展 4/18～6/19	9,000人	12,461人	展示会のテーマに関心をもつ中高年を中心とした女性層が多く参観し、予想を上回る集客ができた。	ミュージアム
特別展入場者 祖父江慎＋コズフィッシュ展「ブックデザイン」1/23～3/23	5,000人	17,682人	祖父江慎氏の知名度が予想したよりはるかに高く、多くのメディアに取り上げられたこともあり、これまでの特別展では多くはなかった10代、20代が多数参観し、参観者数は過去最高を記録した。	ミュージアム
特別展示室貸出	2件	2件	8月には昭和館、しょうけい館など3館合同企画「戦後70年3館合同企画展示会」に、12月には「THE NIPPON POSTERS」展に特別展示室を貸し出した。	ミュージアム
「日比谷カレッジ」満足度 (主催のみ。除く「古文書塾」)	80%以上	91%	各講座とも事前に講師との打ち合わせを丁寧に行い、講座内容の充実をはかり、また広報等と内容に齟齬をきたさないようにした結果、目標満足度を達成できた。	企画
千代田ミュージアム連絡会参加美術館連携企画 (「展示会への入り口講座」「ミュージアムツアー」)	6回	8回	「出光美術館」「三菱一号館」などとの連携講座に加え、日比谷、丸の内の美術館をめぐるツアーも実施した。	企画
オリンピック関連講座	4回	3回	年度の前半は順調に開催できたが、後半はプランが結果に結びつかず目標に及ばなかった。	企画
読書活動推進企画	2件	2件	5月には読みきかせ講座を、3月には中・高の学校図書館に関する講座を開催し好評であった。	企画

項目	目標値	実績	総括	担当
「交流支援室」利用団体	2団体	1団体	昨年同様、「千代田ミュージアム連絡会」の連絡活動研究会の利用に留まった。今後、利用規約の柔軟化などの対策が必要と思われる。	企画
特別研究室 企画展示	4回	4回	日本人移民、明治のリーダーたちの海外渡航、明治の風俗など、内田嘉吉文庫の蔵書を活かした展示企画を実施。特に1月～3月実施の『風俗画報』企画は大きな関心呼び入室者増につながった。	特別研究室
特別研究室 入室者	9,000人	11,002人	展示企画の工夫と広報との連携により、入室者数を伸ばすことができた。	特別研究室
特別研究席 利用者	5,100人	5,845人	昨年度の利用時間の延長以降、図書フロアの満席日も増えたこともあり、新規、リピーターとも順調に増えた。	特別研究室
大・小ホール、会議室 稼働率	66%	65%	10月以降、稼働率が上昇したものの目標値には及ばなかった。	ホール
<b>4. 図書部門</b>				
貸出冊数	16万8千冊	171,276冊	月間1万4千冊ペースとなり、昨年度より1万冊以上増加した。	サービス
新規登録者	10,000人	10,795人	4年目に入り漸減傾向にあるが、日比谷カレッジでの新規登録案内など機会を捉え登録促進を行なった。	サービス
レファレンス	6,500件	6,841件	昨年度同様に、来館者増にともない所蔵調査依頼、各種案内ともに増加した。	サービス
オンライン・データベース席	2,450人	2,902人	今年度もデータベース講座を積極的に開催し利用促進を行った。	サービス
情報収集方法のガイダンス	4回	4回	専門図書館協会加盟館の協力を得て、「防災専門図書館」「JETRO」「総務省 統計図書館」などから解説者に来館いただき充実した情報収集講座を開催できた。	サービス
パスファインダー作成	4件	4件	アート、雑誌、人物情報、法令関連の4点を作成した。	図書企画
データベースフォローアップ講座開催	10回	10回	今年度も、利用者が参加しやすい、1日2回(昼、夕方)、事前申込み不要の講座を開催。データベース利用増に結びついた。	図書企画
図書フロア 企画展示	70件	88件	4ゾーンのそれぞれの蔵書テーマに沿った展示を計画的に実施。また、「UP DATE」展示での日々のニュースに即応した関連図書展示や、日比谷カレッジの講演テーマと連携した展示も積極的に実施した。	図書企画
オリンピック関連展示	1件	1件	日比谷カレッジ「フォトグラファーが捉えた祭典への軌跡」関連展示として、カメラマン武見氏の写真パネル展示を行った。	図書企画
「特別展」関連展示	4件	5件	2階 パープルゾーンの三角展示台をメインに階段まわりなどで特別展示にあわせた関連資料の展示を行い、特別展への誘導を図った。	図書企画
<b>5. 維持管理</b>				
消防訓練	2回	2回	消防設備点検にあわせ消防訓練を予定通り2回実施した。	維持管理

※ 色掛け：未達成